（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	かめっ子クラブ			
○保護者評価実施期間	令和８年　１月１５日	～	令和８年　１月３１日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	令和８年　１月１５日	～	令和８年　１月３１日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和　８年　３月１１日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを大切にし、一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行っています。活動内容についても、子どもたちが楽しみながら参加できるよう工夫し、個々の興味や関心を大切にした療育を実施しています。	職員間で子どもの様子や支援内容を共有し、共通理解のもとで支援を行えるようにしています。また、日々の振り返りやケース共有を通して支援の質の向上に努めています。	外部研修や勉強会への参加を通して職員の専門性向上を図り、より質の高い支援につなげていきます。
2	保護者との連携を大切にし、連絡帳や面談などを通して子どもの様子を丁寧に共有しています。また、毎月お便りを発行し活動の様子を伝えるとともに、「つながる家族」を通して活動の様子をメールで配信するなど、保護者へ分かりやすく情報を伝えるよう努めています。保護者が安心して相談できる関係づくりを心がけ、信頼関係を築きながら支援を進めています。	保護者とのコミュニケーションを大切にし、連絡帳や送迎時の会話などを通して情報共有を行っています。家庭での様子も参考にしながら、子ども一人ひとりに合った支援を検討してます。	ICTの活用なども検討し、記録や情報共有の効率化を図りながら、より丁寧な支援が行える体制づくりを進めていきます。
3	事故防止や安全管理について、マニュアル整備や職員間での情報共有を行い、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めています。	安全面への配慮として、事故や緊急時を想定した対応の確認や環境整備を行い、安心して活動できる環境づくりを意識しています。また、利用児の健康状態や持病にも配慮しながら、安全に活動できるよう支援を行っています。	地域の施設や社会資源を活用した活動の機会を増やし、子どもたちの社会性やコミュニケーション能力の向上を支援していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流できる機会が少なく、情報交換の場が十分に設けられていない点が課題として考えられる。	日々の業務の中で時間的な制約があり、交流の場の設定や記録の整理に十分な時間を確保できていないこと。	保護者交流会や情報共有の機会を検討し、保護者同士のつながりを作る。（今後、茶話会の開催を予定しています）
2	日々の業務の中で、記録や情報共有が口頭中心になる場面もあり、記録の充実や共有方法の改善が必要と考えられる。	専門的な知識や支援方法について、継続的な研修機会が必要であること。	ICTの活用や記録方法の見直しにより情報共有を効率化する。
3	利用児の健康状態や持病などに配慮しながら安全に活動できるよう、体調管理や緊急時対応について職員間での共有を継続して行っていく必要がある。なお、当事業所では医療的ケア児の受け入れは行っていないため、必要に応じて関係機関と連携しながら適切な対応に努めている。	利用児の健康状態に配慮した支援体制について、職員間で継続的に確認していく必要があること。	外部研修や専門職との連携を進め、職員の専門性向上を図る。